

私と外国語

韓国語を学んで

国際コミュニケーション学部3年
富川明日香

私は、大学から韓国語を学習し始めました。大学からの勉強でも理解しやすく、韓国語は学びやすい言葉であると思う点が多くあります。まず、韓国語は英語のローマ字のように、母音と子音を組み合わせる形であるため、母音と子音を覚えてしまえば、なんとなく書くことができます。また、韓国語は英語と違って、日本語と主語や動詞などの語順が酷似しているところも学びやすい点であると思います。発音も英語の単語などより簡単であると感じます。単語の意味などは勉強して覚えるしかないですが、ハングルを見て発音するのみであれば、比較的簡単にすぐできるため、読み上げれば韓国人に大抵伝わると考えて良いと思います。特に、コンピュータやチョコレートなど、カタカナ言葉などは、発音してみるとそのまま意味と酷似していることが多いため、すぐ意味を理解することができるものもあります。そして、最近はスマートフォンでも韓国語のキーボードを登録すれば、簡単に使用できるため、スマートフォンで辞書なども使えるし、LINE やカカオトークというアプリで、日本はもちろん韓国にいる人とも韓国語でのやりとりが簡単に行えます。このような点から、学習しやすい環境もあるといえると思います。

私は2011韓国フィールドワークに参加した

時に、初めて韓国に行きましたが、日常的な飲食店や買い物をする際の店員さんとの会話も少しでき、現地の大学生との交流の際も簡単な自己紹介などができて、韓国語を勉強していたことで、より楽しむことができたと思いました。その後、旅行で訪れた時もハングルを読むことができることで行動しやすい点などもあり、大学で韓国語を学習できて良かったと思います。

僕のドイツ語の勉強の仕方

文学部3年 森 康介

ドイツ文学専攻3年の森です。ここでは外国語を勉強する際、実践していることを紹介していきます。

1、電子辞書ではなく紙辞書を使用する。

電子辞書はすぐに調べられるうえ、常に携帯できます。しかし、このメリットに頼りすぎると、自分で覚えようという学習意欲の妨げになります。

一方、紙辞書は重くて持ち運びに不便なうえ、電子辞書に比べ調べるのも時間がかかります。しかし大事なことは「調べる時間を短縮するためには、調べる回数を減らすにはどうすればいいか?」という事を考えることだと思います。では、どうするのか。

